

2019年5月13日

三鍋敏郎

藤倉山は、麓にある新羅神社周辺にカタクリの花が咲く頃に登った記憶がある。

今回は半時計回りに巡ることにした。JR 今庄の駐車場の端に控えめに車を停めて、北に進む。北陸線に向かって尾根が張り出し、町並みが途切れて狭くなった場所から少し進むと登山口がある。

八十八ヶ所の参道らしく随所に石仏が並び、番号が打たれているので、それぞれ顔の違う石仏を鑑賞しながら登ってゆく。標高 230m 辺りにブナが一本立っている。ツクバネウツギの花が咲き誇っている。マンサクの小さな実がなっている。

三角点 338.3m の側には不動明王の祠がある。そこからすぐに弘法寺があり、ニガナやジシバリの花が参道脇に咲いている。麓の信者さんが日々来られているらしく、よく手入れされたお寺である。

弘法寺を過ぎると道は南西方向に変わり上空を送電線が横切る。眼下に北陸自動車道が見え走行音が響いてくる。

急坂をコルに下り、小ピークを越えると急坂の登りが続く。途中で一度緩むが再びの急斜面を喘ぐとようやく稜線の光が見えて尾根に乗る。稜線から山頂までは近い。

鍋倉山は樹林に囲まれ展望はないが、アズキナシの花が満開である。時間的にも丁度良いのでランチタイム。

鍋倉山からは緩やかな下りが続き、ヤセ尾根を越えると広い尾根となりブナ混じりの美林になる。植生が面白いので楽しみながら登りきると主稜線に乗る。ここから道は 90 度南東方向に変わる。ブナ林の素晴らしい散歩道が続いている。アオダモやユキツバキ、ミツバツツジなどの花を愛でながら歩くと藤倉山山頂に到着する。樹林に囲まれているが、側に反射板があり切り開かれた場所から日野山が遠望できる。

山頂からしばらくブナ林が続き、P 602m を越える辺りまで続いている。P 602m からは緩やかな下りとなり、送電鉄塔辺りが切り開かれ南越の蒼い山々が広がっている。

602m から緩やかに下り 440m 辺りの鉄塔辺りは急坂となり灌木帯で今庄の町並みが見える。急坂で疲れきった辺りでヤセ尾根となりコルを過ぎると広場に出る。ここが燧ヶ城址で石組みが残されている。城趾には切り開きがあり、日野川沿いに開けた今庄の街並みが望める。城址からの下山コースは何度も分岐するが、駅に近いコースを選んで歩くと、標高 230m 辺りにブナの巨木があるが、この標高で見られるのは珍しいと思う。

新羅神社の横に出て、石段を下り宿場町の街並みを楽しみながら歩いて今庄駅に出る。

★大塩・三鍋・他 1 名 ★コース 今庄駅 9:10～登山口 9:22～弘法寺 10:17 発 28  
～鍋倉山 11:12 発 45～主尾根 12:28～藤倉山 12:50 発 13:03～602m 13:13～城趾 14:10  
発 15～新羅神社 14:30～今庄駅 14:42